

132 かすがほんごうちくどうそじんまつ
春日本郷地区道祖神祭り



指 定 市無形民俗文化財 平成10年 2 月20日
所在地 春 日
所有者 春日本郷地区



ここでは現在も「お籠り小屋」を建てている。「お籠り」も道祖神祭りの一環で、子供たちは皆で力を合せて小屋をつくり、その中に道祖神を祀り、家々を廻って餅や金を集めて、一晩中、囲炉裏で餅を焼いて食ったり、蜜柑や菓子を食べる。これは各區で、その出来ばえを競う。

第一日は御幣振り（おんべ）で、3m余もある竿の御幣を持って家々の座敷に上り、それを振り回しながら一風邪の神は舞い出すように一福の神は舞い込むように一とさげび、それから獅子舞をする。4日目の夜は、御輿（みこし）に沢山の提灯（ちようちん）をつけて村中を引き廻すのであるが、御輿の正面のキリコ燈籠の図柄は見事なもので、これは各區で、その出来ばえを競う。